
2019年3月期 決算説明会

2019年5月28日





新社長のご紹介



岡田 義也(おかだ よしや)

2019年4月1日

代表取締役社長

社長執行役員に就任



目次

□2019年3月期決算概要

□新中期経営計画「KBK ブレイクスルー2023」の概要

□2020年3月期業績見通し

□配当政策ほか

2019年3月期決算概要



2019年3月期決算概要

連結P/L	2018年3月期	2019年 3月期		(単位:百万円) 前年度との 増減額
		期初見通し	実績	
売上高	62,080	70,000	67,972	5,892
売上総利益	8,193	9,000	8,875	681
販管費	7,381	7,700	7,795	413
営業利益	812	1,300	1,080	268
経常利益	1,537	1,700	2,023	486
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,467	1,200	1,276	▲191

- ◆ 売上高 ----- 基幹産業関連部門の重電設備事業に加え、電子・制御システム関連部門の電力会社向け計装システム事業が好調に推移し増収
- ◆ 売上総利益 ----- 重電設備事業の好調に加え、電子機器関連事業が好調で増益
- ◆ 営業利益 ----- 売上総利益の増益に伴い増益
- ◆ 経常利益 ----- 営業利益の増益に併せ受取配当金等の増加に伴い増益
- ◆ 親会社株主に帰属
する当期純利益 ----- のれんの減損損失とエトー株式会社のタイ現地法人の完全子会社化に伴う繰延税金負債の計上による法人税等調整額の増加などがあり減益



2019年3月期決算概要（事業セグメント別）

事業の種類別セグメント — 基幹産業関連部門

（単位：百万円）

連結	2018年3月期		2019年3月期		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
重電設備	15,542	919	19,819	1,311	4,276	391
鉄鋼関連	1,451	175	1,595	204	143	29
資源開発機器	1,701	229	1,374	302	▲326	72
検査装置	1,896	453	2,003	489	107	36
その他	84	15	144	24	59	8
合計	20,676	1,793	24,937	2,331	4,261	538

- 重電設備 ----- 鉄鋼・化学プラント業界の設備投資が活況だったことに加え、大口案件にも恵まれ増収増益
- 鉄鋼関連 ----- 国内外向けともに堅調に推移したことから増収増益
- 資源開発機器 ----- 業界不振の影響で物理探査機器、地震計等が落ち込んだものの、掘削関連予備品の納入は底堅く推移し減収増益
- 検査装置 ----- 第4四半期に納入が集中し増収増益



2019年3月期決算概要（事業セグメント別）

事業の種類別セグメント — 電子・制御システム関連部門

（単位：百万円）

連結	2018年3月期		2019年3月期		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
航空電子	2,117	351	2,529	346	412	▲4
電子機器	1,108	349	1,864	492	756	142
計装システム	6,702	519	8,173	566	1,470	47
合計	9,928	1,220	12,568	1,405	2,639	185

- 航空電子 ----- 自動車向け軽量電線の量産に対する納入開始も、予定されていたバイオマス発電関連の納入が一部翌期へと延期となり増収減益
- 電子機器 ----- 半導体関連部品が順調だったことに加え、今期よりドイツ現地法人が連結子会社化で増収増益
- 計装システム ----- 電力会社向けの大口案件の納入もあり好調に推移し増収増益



2019年3月期決算概要（事業セグメント別）

事業の種類別セグメント — 産業素材関連部門

（単位：百万円）

連 結	2018年3月期		2019年3月期		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
樹脂・塗料	12,577	1,198	11,407	1,187	▲1,169	▲11
複合材料	2,364	443	2,686	435	321	▲7
食品関連	1,030	123	899	167	▲130	44
合 計	15,972	1,766	14,994	1,791	▲978	25

■ 樹脂・塗料

北米での事業が堅調に推移したものの、中国での事業の落ち込みをカバーするまでには至らず減収減益

■ 複合材料

関連設備の納入が下期において好調だったものの、好調だった炭素繊維関連資材が価格競争の影響で収益が抑えられ増収減益

■ 食品関連

設備関連の売上が伸び悩んだものの、関連副資材の値上効果で利益を押し上げ減収増益



2019年3月期決算概要（事業セグメント別）

事業の種類別セグメント - 機械部品関連部門

（単位：百万円）

連 結	2018年3月期		2019年3月期		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
ねじ関連	14,449	3,036	14,558	3,043	108	6
ばね関連	1,054	377	915	302	▲139	▲74
合 計	15,503	3,413	15,473	3,346	▲30	▲67

- ねじ関連

 年度後半の中国向け商材の売上鈍化はあったものの、住宅設備向けが好調に推移し増収増益

- ばね関連

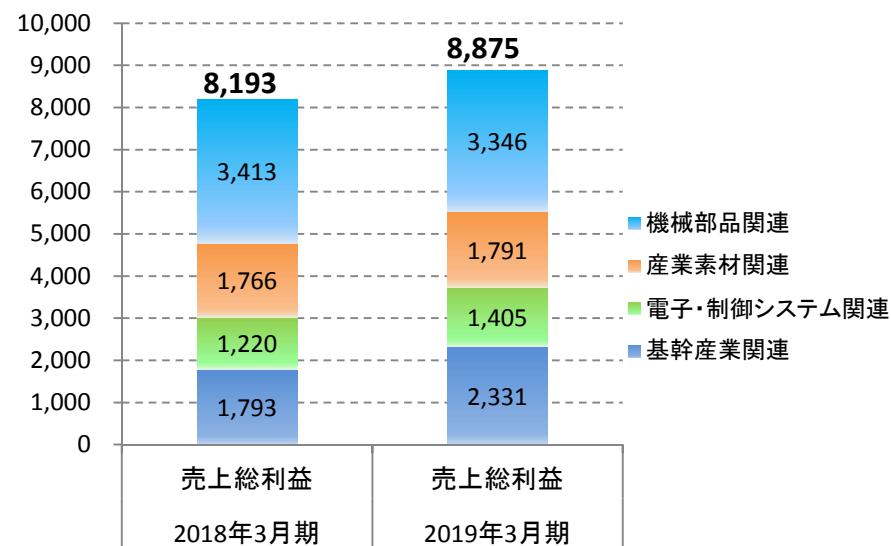
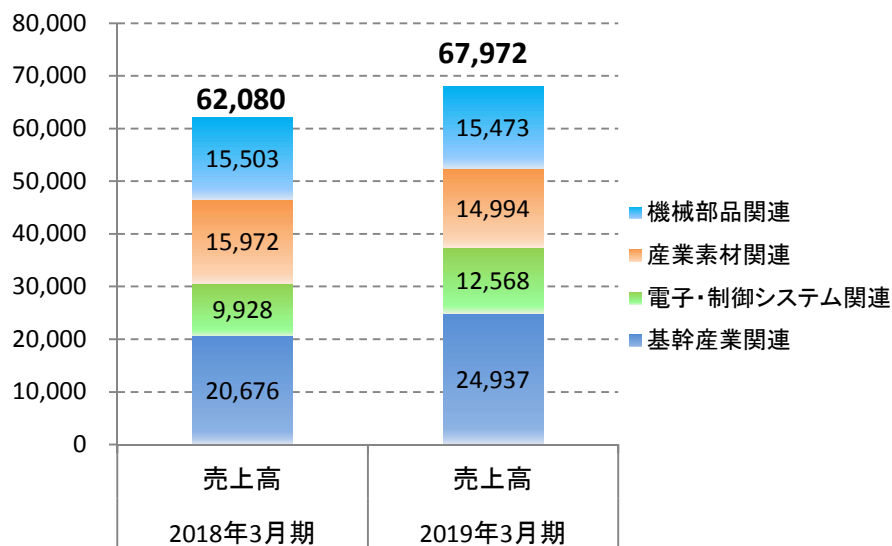
 コアビジネスの定荷重ばねが前年同期なみに推移したものの、ぜんまい他の製品の売上が減少し減収減益



2019年3月期決算概要（事業セグメント別）

（単位：百万円）

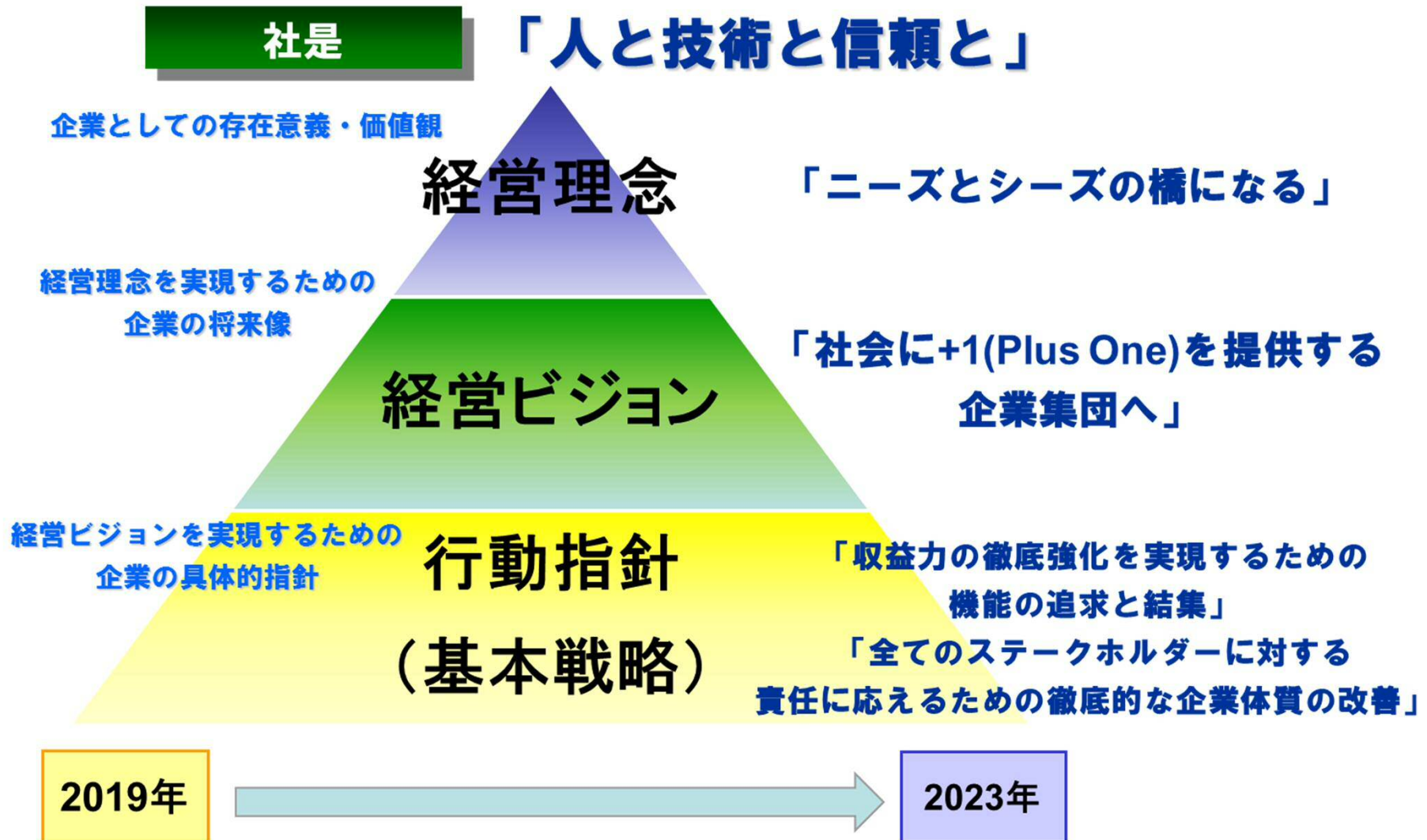
	2018年3月期		2019年3月期	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
基幹産業関連	20,676	1,793	24,937	2,331
電子・制御システム関連	9,928	1,220	12,568	1,405
産業素材関連	15,972	1,766	14,994	1,791
機械部品関連	15,503	3,413	15,473	3,346
合計	62,080	8,193	67,972	8,875



新中期経営計画「KBK ブレイクスルー2023」 の概要



計画のコンセプト





計画の基本戦略（1）

基本戦略

収益力の徹底強化を実現するための
機能の追求と結集

重点施策

- 事業ポートフォリオの最適化
- 新たな価値創造を生み出すM&Aと事業投資の実行



計画の基本戦略（2）

基本戦略

全てのステークホルダーに対する責任に
応えるための徹底的な企業体質の改善

重点施策

- 資本コストを意識したグループ経営の実践
- IR・PR・ER強化による企業価値の向上



計画の持つ意味

「KBKブレイクスルー2023」とは

当グループが目指す企業集団へ進化していくための
大胆な改革をやり遂げていくための5年間

当グループが置かれた現況を「打開」
(ブレイクスルー)し、「飛躍的な進歩」に
よって計画を実現しようとの思い



計画経営目標

2024年3月期までに達成すべき目標

連結経常利益	25億円
ROE	8%
総還元性向	35%以上
自社株買い	発行済株式数の10%程度(1~2年以内)

2020年3月期業績見通し



2020年3月期業績見通し

(単位:百万円)

2020年3月期 連結業績予想			
連結	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 通期見通し
売上高	62,080	67,972	69,000
売上総利益	8,193	8,875	9,000
営業利益	812	1,080	1,100
経常利益	1,537	2,023	1,600
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,467	1,276	1,200



2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

2020年3月期事業セグメント別 業績見通し

■ 基幹産業関連部門

（単位：百万円）

連 結	2018年3月期 通期実績		2019年3月期 通期実績		2020年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
重電設備	15,542	919	19,819	1,311	15,800	1,350
	大口の設備は見込めないものの、活況な設備更新需要を背景に着実に受注を積み重ね減収増益の見込み					
鉄鋼関連	1,451	175	1,595	204	2,300	240
	国内設備の納入が堅調に推移する予定で増収増益の見込み					
資源開発機器	1,701	229	1,374	302	2,000	360
	業界環境に回復傾向が見られ増収増益の見込み					
検査装置	1,896	453	2,003	489	2,400	470
	自動車部品メーカーほかからの受託試験などのサービスで売上を伸ばす予定で増収減益の見込み					
その他	84	15	144	24	100	20
合 計	20,676	1,793	24,937	2,331	22,600	2,440



2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

2020年3月期事業セグメント別 業績見通し

■ 電子・制御システム関連部門

（単位：百万円）

連 結	2018年3月期 通期実績		2019年3月期 通期実績		2020年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
航空電子	2,117	351	2,529	346	4,400	460
	一部延期となっていたバイオマス発電の設備機器納入や自動車向け軽量ケーブルの量産受注が本格化し増収増益の見込み					
電子機器	1,108	349	1,864	492	2,100	440
	ドイツ現地法人のリチウムイオン電池事業が堅調に推移する予定なものの、半導体関連部品は、前年度ほどの伸びは見込めず増収減益の見込み					
計装システム	6,702	519	8,173	566	6,500	420
	震災以降続いていた発電所向けの更新需要等が一巡したことから、減収減益の見込み					
合 計	9,928	1,220	12,568	1,405	13,000	1,320



2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

2020年3月期事業セグメント別 業績見通し

産業素材関連部門

（単位：百万円）

連 結	2018年3月期 通期実績		2019年3月期 通期実績		2020年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
樹脂・塗料	12,577	1,198	11,407	1,187	13,500	1,140
	国内外向け商材が堅調に推移することが見込まれるものの、中国向けに陰りが見えることから増収減益の見込み					
複合材料	2,364	443	2,686	435	2,400	370
	炭素繊維関連資材における厳しい値下げ要求などの影響から減収減益の見込み					
食品関連	1,030	123	899	167	1,300	240
	ハム・ソーセージ用輸入副資材に復調の兆しが見られるほか、関連機器の受注も見込まれ増収増益の見込み					
合 計	15,972	1,766	14,994	1,791	17,200	1,750



2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

2020年3月期事業セグメント別 業績見通し

■ 機械部品関連部門

（単位：百万円）

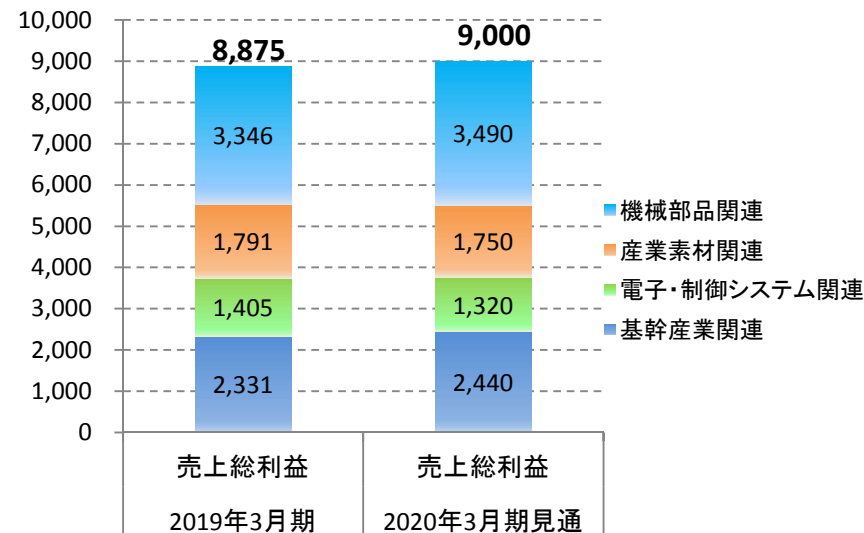
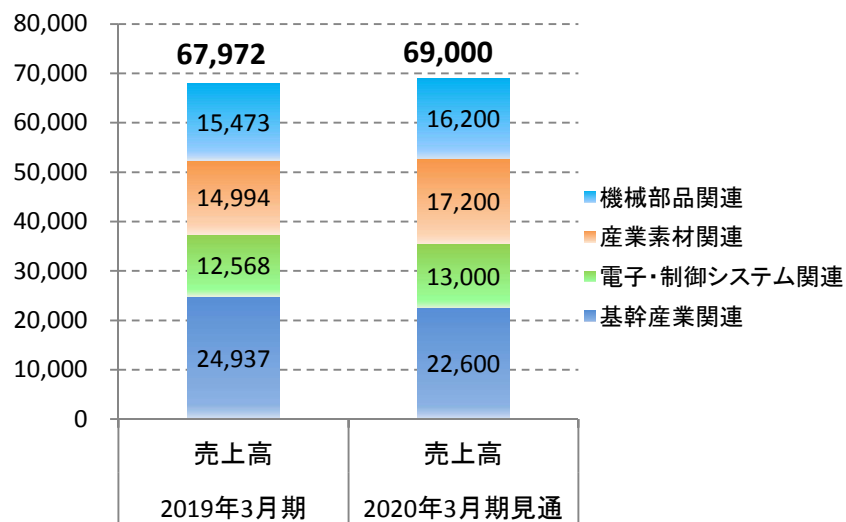
連 結	2018年年3月期 通期実績		2019年3月期 通期実績		2020年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
ねじ関連	14,449	3,036	14,558	3,043	15,100	3,100
	米中貿易摩擦の影響で中国向けに下落傾向がみられるものの、国内住宅設備向け等が堅調に推移することが予想され増収増益の見込み					
ばね関連	1,054	377	915	302	1,100	390
	製品の生産効率を高めることによる利益率の向上に取り組んでいるほか、新製品の改善が進んでいることから増収増益の見込み					
合 計	15,503	3,413	15,473	3,346	16,200	3,490



2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

（単位：百万円）

	2019年3月期		2020年3月期(見通し)	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
基幹産業関連	24,937	2,331	22,600	2,440
電子・制御システム関連	12,568	1,405	13,000	1,320
産業素材関連	14,994	1,791	17,200	1,750
機械部品関連	15,473	3,346	16,200	3,490
合計	67,972	8,875	69,000	9,000



配当政策ほか



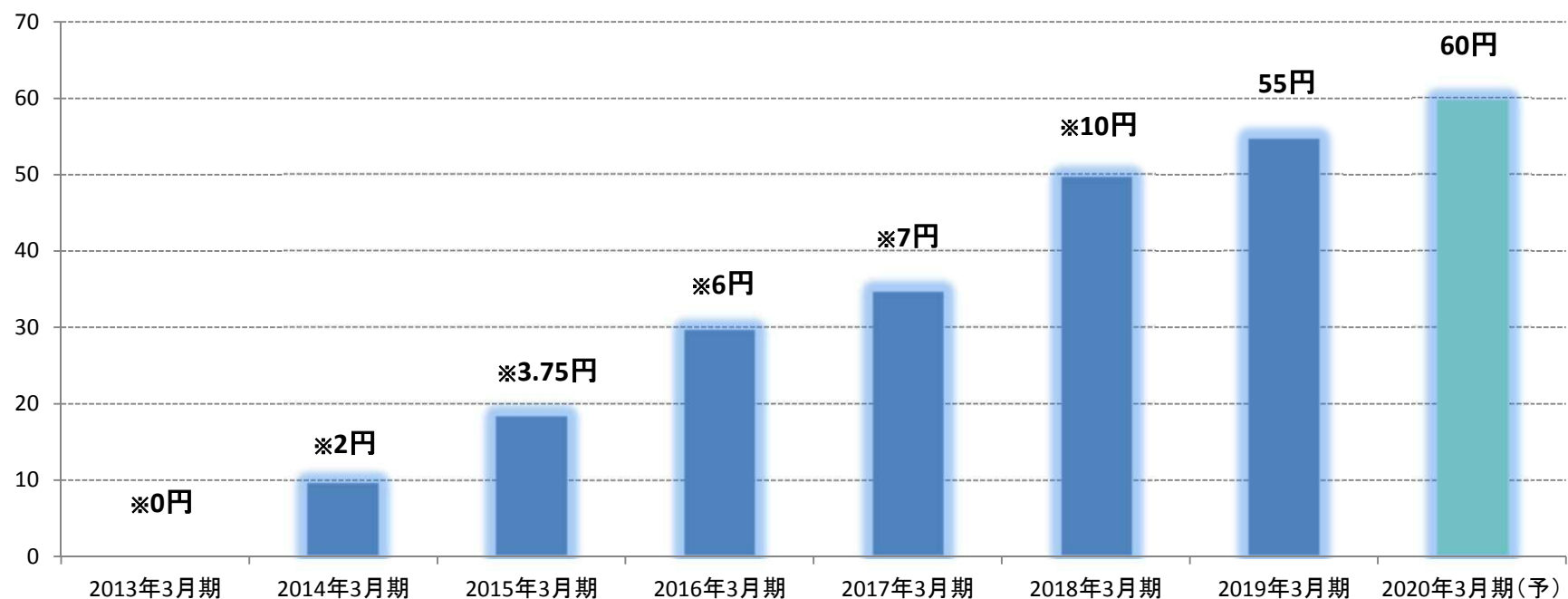
配当政策

2019年3月期 【年間】 55円

2020年3月期 【年間】 60円(予想)

年間配当金

※印配当金は、株式併合前金額



より一層の株主還元を目指してまいります

ご清聴ありがとうございました。



見通しに関する注意事項

この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。